

ひしもにた

議会だより

発行：群馬県下仁田町議会



道の駅しもにた（4月8日撮影）



下仁田町交流防災ステーション（4月8日撮影）

あなたと議会を結ぶ 確かな情報と信頼

主な 内容

- 平成30年度予算 …………… 2～3
- 予算決算質疑 …………… 4～5
- 一般質問等 …………… 6～7
- 予算の審議経過 …………… 7～9
- 審議結果 …………… 10～11
- 行政視察報告 …………… 12～13
- シリーズジオパーク④ …………… 14



下仁田町議会
QRコード

組み替え動議成立、会期延長で修正可決

平成30年度予算 一般会計は48億600万円

前年度比 3億7,800万円の減額 (-7.3%)

■主要事業

(単位：万円)	
事業名等	予算額
地域づくり人財育成支援事業（基金 50 万円）	50
集落高齢者等タクシー利用券交付	200
下仁田南牧医療事務組合負担金（過疎債 5,250 万円・基金 3,220 万円・一般財源 2 億 6,332 万円）	3 億 4,802
有害鳥獣駆除対策（県 1,041 万円・一般財源 679 万円）	1,720
農業分野における地域おこし協力隊事業	706
小規模農村整備事業（2 路線・県 1,580 万円・一般財源 1,932 万円）	3,512
ぐんま緑の県民基金事業（県 412 万円・基金 680 万円・一般財源 769 万円）	1,861
県単林道改良事業（2 路線・県 1,374 万円・過疎債 1,370 万円・一般財源 5 万円）	2,749
起業支援オフィス管理運営【新】	3,437
ぐんま新技術・新製品開発推進補助金	40
起業支援事業補助金（新たに起業しようとする方に必要な経費の一部補助）	150
諏訪神社前トイレ新設工事 他（県 500 万円・過疎債 2,020 万円・一般財源 4 万円）【新】	2,524
防災施設維持管理費	119
舗装補修工事（1 路線）	200
道路改良工事（1 路線側溝整備）	540
過疎道路整備（5 路線・過疎債 7,810 万円・一般財源 16 万円）	7,826
町道橋修復工事（4 路線・点検国 5,982 万円・過疎債 3,300 万円・一般財源 1,669 万円）	1 億 951
消防自動車購入（過疎債 1,700 万円・一般財源 7 万円）	1,707
防火水槽設置工事（緊防債 700 万円・一般財源 2 万円）	702
防災用備品購入	123
文化財調査保護（国 642 万円・県 321 万円・過疎債 3,770 万円・その他 1,328 万円・一般財源 879 万円）	6,940
ジオパーク運営（県 185 万円・一般財源 1,434 万円）	1,619

事業名等	予算額
○定住促進事業	
定住促進奨励金（町内新築住宅取得者へ25万円支給）	475
空き家等利活用事業補助（経費の2分の1以内（100万円限度））	100
ねぎとこんにやく下仁田奨学金事業（地域全体で応援する新しい奨学金制度）	2,562
○少子高齢化対策事業	
出産祝金（出産時に第1子5万円、第2子10万円、第3子以降20万円支給）	210
保育料第2子目以降免除	826
保育料第1子（年収360万円未満世帯のみ）免除【新】	159
入学祝金（小学校、中学校入学時に祝金3万円と商品券2万円分を支給）	310
不妊・不育治療費助成（特定治療は治療費の2分の1助成（100万円限度）） （他一般・不育治療は治療費の2分の1助成（20万円限度））	50

【新】は新規を表しています。

（万円未満切り捨て）

議会副議長4年以上在職者

**岩崎正春氏が
自治功勞表彰**



群馬県町村議会議長会が2月21日に開催され、その席上岩崎正春議員が議会副議長在職4年以上の自治功勞者として議長会長から表彰を受けました。

3月定例会の概要

▼開会日・一般質問（6日）
会期を16日までとする決定を行い、岩崎正春議員が、町政のさまざまな課題について一般質問を行った。

▼議案の上程・採決（8日）
人事案件・条例等の改正案など18議案を上程・採決し、平成30年度当初予算および平成29年度補正予算を予算決算特別委員会に、陳情2件を総務常任委員会に付託した。

▼最終日・採決（20日）
審議結果は10・11ページをご覧ください。
「若い人も高齢者も安心できる年金制度である全額国庫負担の最低保証年金制度創設を政府に求める陳情」「年金支給の隔月支給を毎月支給に改める陳情」は、継続審査になった。

▼予算決算特別委員会（9日）
4・5ページ参照

▼動議提出・会期延長（16日）
平成29年度補正予算採決後、平成30年度下仁田町一般会計予算の組替えの動議が提出され成立。会期を20日まで延長した。7・8・9ページ参照

▼組み替え動議とは
予算組替え動議とは、町の予算（案）を撤回して修正してから再提出することを求める動議です。

予算決算特別委員会（傍聴者1人）

▼主な質疑

◆平成29年度下仁田町一般会計補正予算（第8号）

問 林業施設費の減額理由について、事業毎に詳細な説明を求める。

答 林業作業道総合整備事業は県の財政事情による減額。林道等維持補修事業は林道桑本三本木線改良工事の入札差金によるもの。林業再生緊急路線整備事業は国庫補助事業だが、県下全体の事業要望に対し20パーセント以下の予算割当に留まったため、当町分の事業は対象外となった。県単林道改良事業も県の財政事情によるもので、県予算が前年度対比94パーセントに減少したこと、並びに当事業の要望が前年度より12件増加したことにより、1事業当たりの予算配分が減少したことを受け補正減とした。

問 当初予算の3分の1の減額。毎年この様なことが繰り返されている。原因は国・県にあるのか、現場に問題があるのか。

答 平成29年度については県の財政事情による。それ以前については、森林組合が林経作業道の作設に当たり、事業量を過剰に見積もったと見受けられる経緯も確かにあった。

問 急傾斜対策は175万円の減額ですが、事業は進んでいるか。

答 平成29年度で急傾斜対策の事業費は関口地区で2500万円から2千万円と中井地区で3500万円から2千万円と減額しているが、事業は進んでいる。

◆平成30年度下仁田町一般会計予算

【歳入】

問 軽自動車税は、昨年度とあまり変わらないが、優遇税制があるか。

答 13年経過した車両は、重課となる。また一定の基準を満たした、車両については、軽課がありま

問 地方揮発油譲与税の前年度対比200万円減の理由は。

答 12・5パーセントの減額となった理由ですが、国勢調査における人口減少により、道路面積に対する人口密度が減ったことから補正係

数が減少したことによる。

問 29年度末起債残高56億円ということだが、交付税参入はどのくらいか。

答 起債残額の46・7パーセントが過疎債で算入率70パーセント、41・9パーセントが臨時財政対策債で算入率100パーセントなどであるため、一般会計債の残金の56億円の内およそ80パーセントである45億円程度が交付税として後年度算入されることから、実質的な残金は11億円程度と見込まれる。

問 ゴルフ場利用税について状況説明を。

答 下仁田カントリークラブ利用者に対する税金であり、65歳未満600円、70歳未満300円、70歳以上なしとなっている。また、人数については、ここ数年

3万2千人前後で推移している。

問 病院に対する補助金の財源等について説明を。

答 その他財源8470万円の内、過疎債のソフト分が5250万円、ふるさと下仁田応援基金が3220万円となっている。

問 交付税として入ってくる分を除いた実質的な町の持ち出しはどのくらいか。

答 普通交付税として1億6千万円ほどあるので、予算上は1億円程度といえるがその他財源は他事業に振り替えることが可能な財源ということを加味すると、財政係的には補助額3億4800万円から交付財算入分1億6千万を控除した1億7千万円が実質的な町負担と考えている。

問 林業費関係収入のうち、林業総合センター負担金4万2千円の内容は。

答 林業総合センターの建物災害共済負担金で、森林組合の事務所使用面積分として按分計算し、森林組合より負担金を徴収している。

【歳出】

問 防火水槽設置工事は、以前は、3基までとめて補助金を受けて設置した経緯がある。今回は、補助金等入は見込んでいないようだが、補助を受けることはできないのか、今後は、どのように考えているか。

答 補助金については、基準額が決まっている。当町の規模の場合は、3基程度まとめた額で基準額に達し申請を行い、許可になると補

助金を受けて造つてきた経緯がある。29年度も3基まとめた上で補助金申請をしたが、補助金申請数

が多く、当町はその中に入れなかったというのを県の担当者から聞いています。今後においては、要望が出た時点で随時、実施していきたいと考えています。

問 来年度3分団で更新される新しい消防車両についての、消防施設整備費の説明を。

答 新しく更新される消防車両は、備品購入費で1783万3千円を予算計上している。消防施設整備費は、その他の車両の車検代や燃料代、詰所の整備費や光熱費となっている。

問 有害鳥獣対策費について、大型囲い罠にて猿の捕獲8頭の報告を受けている。

その後の捕獲状況及び継続して実施するか、また、予算はどうなっているのか。

答 大型囲い罠での捕獲頭数は、下仁田群8頭、坂詰群11頭で合計19頭である。継続して実施し、全頭捕獲を目指して取り組む。囲い罠の購入は、国庫補助金10分の10の交付で、有害鳥獣対策協議会が設置しているため、町の予算には計上されていない。

問 ぐんま緑の県民基金事業のその他財源の内容は何か。

答 ふるさと下仁田応援基金繰入金財源となっている。

問 残り全て一般財源となるが、補助率が良くない。

答 その通り。事業毎に面積当たりの単価が定められており、施業内容により補助率に変動がある。

補助単価の一例として、森林伐採50万円／ヘクタール、森林全伐150万円／ヘクタール、竹林伐採270万円／ヘクタール、竹林全伐590万円／ヘクタールとなる。

平成30年度の施業予定箇所は単価の低い場所が多く、補助率22・6パーセント程度になると見込んでいる。

問 住宅管理費があるが、町営住宅が20戸も空いているのに大丈夫か。

答 公営住宅の入居はいろいろな資格要件がある。多くの方が入居できるように努力したい。

問 森林組合の若い職員が民間の家賃の高い賃貸住宅に入っている。また、地域おこし協力隊も民間の高い賃貸住宅に入っている状況。そういった人達が町営住宅に入れるように法改正はできないか。

答 入居要件等の緩和について県と協議して行きたい。

問 国際交流教育の数の海外派遣事業の人数と費用の内訳の説明を。

答 参加生徒14人、引率者3人、交通費、保険、パスポート申請等を含め1人当たり約45万円を計上。

問 財源内訳を。

答 事業費760万円に対し、ふるさと下仁田応援基金からの繰入が240万円、参加者負担金が280万円、一般財源が240万円です。

問 風穴へ行く土日の通行止めは解消できないか。

答 土木・警察と協議したい。

問 春秋館に関する予算については。

答 調査費150万円を計上している。

問 どのようなことをしていくのか。

答 30年度は、土地と建物を調査し、3年を目標として、内容を目標とした。

問 南牧村給食費等負担金について、内容の説明を。

答 予算額1705万の内、建設に係る事業費の一部負担で350万円。これは2割負担で10年間の定額である。調理場運営費も2割負担で1015万円だが、こちらは消耗品や人件費なので、金額は毎年変更になるため決算状況をみて次年度の委託料で調整する。給食の材料費は340万円です。

◆平成30年度下仁田町国民健康保険特別会計予算

問 平成30年度からの国保制度改正のメリット、デメリットは。

答 国保財政の運営が県単位になり安定した財政になる。将来的には、後期高齢者医療のようになるのだと思われる。

一番のメリットは、インフルエンザなどが流行し医療給付が伸びたとしても、県より給付されることになるので、当町だけでやり繰りを工面する必要がなくなり県全体で担うことになる。年度途中での納付金の増額変更はないので、翌年度に県全体で納付金が再計算される。デメリットは、システム導入による事務費の増額である。

一般質問 町政を問う

質問者席

■質問事項一覧 >>> (傍聴者数2人)

◆岩崎正春 議員 60分・・・ 6・7ページ < 質問の相手 >

1. 町政の展望

- ①財政懸念への対応
- ②行財政改革取り組みは

2. ジオパーク再認定後の課題と施策

- ①ジオパークは町に何をもたらしたのか
- ②これからの取り組みによって、町は何を得ることができるのか
- ③ジオ応援団の持続的活動に向けて支援は
- ④若い研究者のための環境づくり
- ⑤観光開発への施策は

3. 高齢者ドライバー対策について

- ①高齢者事故の実態は
- ②免許返納の状況は
- ③安全対策の進め方について

町 長

※次ページからの質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。会議録の詳細は、下仁田町議会のホームページに掲載しますのでご覧ください。

下仁田町議会ホームページアドレス <http://www.town.shimonita.lg.jp/m08/index.html>



問 財政懸念への対応

答 大改革を進めなければならぬ感覚

議員 一部組合の経営状況が厳しいという状況を町の町長として、厚生病院管理者として、この問題に取り組み姿勢をお尋ねします。

町長 持続可能な町政運営に向け、既存経費を見直しながら、また合理化、いろいろな意味での効率化に努めていく。

議員 行革の観点、行革をどのように進めるのか。人件費等、自ら身を切るところから始

める必要がある。

町長 今の状況は、病院に固執するわけではないが厳しい運営状況が続いている。年度が変われば新しいものというか、活性化のための手段をとっていく。

問 ジオパーク再認定後の課題と施策は

答 再認定は住民活動により獲得したもの

議員 ジオパークは何をもたらし、今後どのようなものを得るのか

教育課長 再審査を通じて感じたことは、取り組みをしている

方々の熱心さとその反面ジオパークはよくわからないという意見も多く、離れて見ている方の多いことにも気づいた。そのギャップを埋めていくことが今後の課題と考え、より多くの方々にご協力とご理解をいただけるよう活動していく。多くの研究者が入り、魅力ある大地がありながら、広くアピールするテーマづくりをすること考えています。アクションプランで地域住民がガイドとなれるような目標を掲げている。ジオパーク推進係が中心となり、地域に向く活動として、各種会議の機会に時間をいただきながら、その地域の方しか知らない伝承など聞き取りを行い、地質の難しいこと、それらの印象を払拭

できるような活動に取り組んでいきたい。

議員 世界ジオパークを目指すということではないのか。

教育課長 世界を目指すのであれば、下仁田ジオパーク単体ではちよつと無理があるということ、広域の連携等も考えた上で、世界ジオパークについては考えてくださいという指摘をいただいている。

議員 ガイドさん、応援団の方、いろいろ厳しい状況も聞いている、サポート体制は、町長 支援、応援はしていきます。

議員 ジオパークや世界遺産事業への推進も、費用対効果という観点から、町民の理解を得るには、経済的効果が実感できる施策が不可欠だ。

教育課長 魅力的なジオツアーの構築と積極的な情報発信によ

り、下仁田町や他のジオパークからの視察を積極的に受け入れるとともに、研究団体や大学のゼミ生を含め、教育旅行の受け入れを増やし、交流人口を増やして、経済効果に結びつけたい。

観光課長 ジオパーク

応援団、自然学校等、関係団体等との連携も図りながら、よりよい効果が出るように取り組みをしていきたい。

問 町における事故の実態、免許の返納の状況

答 高齢者運転免許自主返納支援補助制度を創設

総務課長 高齢者事故

の町の状況は、件数が9件で、前年比7件減、負傷者は5人で、前年比10人減。免許返納は平成24年度は9人、25年度は

12人、26年度は12人、27年度は15人、28年度は22人、本年度は2月末現在で28人。

議員 高齢者は危ない、事故が多い、だから免許を返納したほうが良いというだけでは高齢者のやる気が下がってしまうというのを危惧している。もっと地域で活躍しやすい高齢者サポートする下仁田町限定免許をやったらどうか。

総務課長 町では、認知症予防対策として、コグニサイズという認知症予防運動を実施している。具体的にはシトリをしながら足踏みを行うなど、頭を働かせる認知課題と体を使う運動課題を両方同時に行うことで、心身の機能を効率的に上げていくプログラムとなっております。

平成30年度
一般会計予算の審議経過

3月16日（本会議）

第29号議案平成30年度予算採決に対し予算替え動議を提出（全会一致で可決）

町は予算案（第29号議案）を撤回

予算案を修正し提出

修正部分の説明・質疑

議会の会期を延長

3月20日（本会議）

質疑終了後予算決算特別委員会に付託

予算決算特別委員会委員長報告

修正案を可決

動議の提出理由

議員 副町長が空席になる報告もなく予算審議を行い、委員長報告をした。平成30年度もこの体制で町政を運営されることを前提に議会は審議を行った。（副町長が

ら16日に辞職願が出され受理された）状況が変わった以上それに応じた予算編成を行うべきである。副町長の給与及び関連予算について（総額1400万円）減額し、組み替えを行い、改めて提出をしていただきたい。

なおかつ、本定例会に副町長の人事案件が出されるべきであるがそれがない。空席のまま、常勤特別職の給与その他全員の歳費を認めるわけにはいかない。このような曖昧な状況で第29号議案を採決することはできません。

議員 一昨年の12月、当時の正副議長、町長、総務課長と4人で、うきは市に行つた。そのときに次の年1年間一緒に町のためにやってほしいということで契約を交わしてきた。その後、うきは市に行つたか。

町長 行ってない。
議員 その時点で、町長は副町長はいらないと判断したのか。

町長 そうではない。継続契約の件は公室長に説明させる。
町長公室長 下仁田町から、うきは市に2月の下旬にうきは市

町長 2月末です。
議員 町長は辞表を受け取らずにもう一度慰留したか。

町長 本人の大きなプライベートにかかわることなので、いろんな経緯を話したいが、ちよつと話じづらい。

議員 一昨年の12月、当時の正副議長、町長、総務課長と4人で、うきは市に行つた。そのときに次の年1年間一緒に町のためにやってほしいということで契約を交わしてきた。その後、うきは市に行つたか。

町長 行ってない。
議員 その時点で、町長は副町長はいらないと判断したのか。

町長 そうではない。継続契約の件は公室長に説明させる。
町長公室長 下仁田町から、うきは市に2月の下旬にうきは市

※コグニサイズとは…コグニション（認知）とエクササイズ（運動）を組み合わせた造語

長宛てに町の考え方を
お伝えさせていた
だいた。その後うき
は市から3月上旬に
町の意向について了
解をいただいた。

議員 どうしてこう
なったか経過だけ知
りたい。我々も説
明しなくてはならな
い。

議員 町長ほどの時点
で判断をしたのか、
議会に理解を求める
ことが必要ではない
か。

町長 非常に、プライ
バシーにかかわるこ
と。

議員 30年度の予算、
私は非常に解せな
い。私も総務常任委
員会として、うきは
市のほうに行政視察
に行かせていただい
た。非常に喜んでい
ただき、懇親を深め
たという感じはあり
ました。そのとき副
町長が体調を崩して
いて、一緒に地元を

回ることができず非
常に残念でした。

議員 本人が、うきは
市に戻りたい気持ち
がいつから始まった
のか。なぜ3月16日
の最終日に辞表を提
出したのか、そこが
聞きたい。町長は個
人情報ということだ
何の返答もない、納
得できない。

副町長 熟慮させてい
ただき、この週末ぐ
らいにいろいろと考
えて今朝、辞表を提
出させていただいた。

議員 行政視察に行つ
たとき、副市長と話
し、また高木市長と
の話の中で、今年の
ねぎ祭りには盛大に
行かせていただきま
す。うきは市は名産
が柿で、昨年持つて
きた柿ではあつとい
う間に売れたので、
もつと持つて来れる
かという話をしたら
十倍ぐらい持つてお
伺いさせていただき

ます。このような話
もしていた。吉弘君
が戻るといふ想定
の中の話は2月初めに
はなかった。

■ 3月20日

議員 なぜ、議会にこ
の一連の話をわかっ
た時点で報告しな
かったのか。

議員 副町長は、中途
半端で帰るのではな
くて、仕事をやり尽
くしたというふう
に思つて辞表を出され
たのかどうか。

副町長 いろんなタイ
ミングだったのかな
というふうには私自身
も今感じている。

議員 議会側からの指
摘を受けて、混乱が
続いている。このこ
とに対して、町長は
どのように考えてい
るか。

町長 平成28年町長に
就任してうきは市に
行つたとき、高木市
長から4年の任期の

中で、できればあと
1年で任期を終わ
りにしたいが、再来年
4月以降の1年後の
状況を精査してとい
う協定を改めて結び
たい。下仁田町の皆
さんが吉弘を支えて
いただいていること
は十分承知している
が、家族への配慮も
いただけるとありが
たい。今年になつ
て3月の任期が近づ
いてうきは市との関
係もあり協定どおり
高木市長のほうへ連
絡した。それを議長
に話さなかったのは、
まだ、吉弘君の身分
が向こうへ入れるか
どうかわからない、
そういうこともある
水面下にしてくれと
いうことで進めた。

議員 副町長の処遇
を考えてということ
であれば、議会が開
催中だったのに、な
ぜ、単独で受理され
たか。

議員 課長会議を開い
てその旨を伝えるの
なら、瞬時に同時進
行で議会にも相談が
十分にできる時間は
あつたと思います。
まさに、議会を軽視
しているわけでは
う。

町長 最初から最後ま
で、うきは市長と私
の話でまだ水面下、
水面下ということだ
した。非常にそれが
頭に強くあり、配慮
が足りなかつたと非
常に感じています。
申しわけなく思つて
いる。

副町長 最終日の最後
に発言の許可をいた
だきたいということ
で、その旨伝えた。
配慮が足りず、まこ
とに申し訳なかつた。

議員 少なくともうきは
市まで行つてお願
いしてきた立場とす
れば、吉弘さんをお
返しするときは、皆
さんで本当にご尽力

いただいてありがと
うという感謝の気持
ちで送りたいわけ
です。ただ、町長の言
動を見ると、これだ
け議会が混乱してい
るといふことに対し
て、今後、この信頼
をどういふふう
に高めていくのか。

町長 先程も申したよ
うに、余りにも彼の
将来、非常に大きく
かかつていた。それ
で、うきは市長、う
きは市議会とのこと
を優先した。皆さん
に迷惑をかけたこと
に対し、配慮不足で、
申しわけないと思つ
ている。

議員 なぜ2月29日、
ここまで押し迫つて
からの協議の申し入
れとなつたのか。

議員 この時期に申し
入れをしながら、予
算書には副町長の報
酬分がしっかりと盛
り込まれているのを
我々は審議をさせら

れていた。3月に回答、返答をいただいたということですが、これに対する内容、日時、これについて回答いただきたい。

副町長 3月2日、電話にて、うきは市のほうから文書の中身のとおり承知したという連絡をいただいた。

議員 最終日の早朝に辞表を出して、その場で受理をされた。最終日の議会がどういう形になるかということは原町長、容易に想像できることではないかなど。どうお考えだったでしょうか。

町長 確かに、その通りです。水面下でうきは市との関係がくる中で、予算はほとんど進んでいく。本当に断腸の思いでおりました。

議員 総務常任委員

会の行政視察が1月31日から2月2日に行われた。以前うきは市の議会から下仁田町に来ていただいたので、親交を深めるためにうきは市に行政視察をさせていただいたが、人事交流が終わりうきは市に戻るというようなニュアンスは全く感じなかった。3月31日に決まっているのであれば、その前にうきは市長との話し合いをなぜしなかったのか。

町長 うきは市長との話し合いの中でこのとでした。それを優先する余り、吉弘君の将来を考えた中の行動で、本当に皆様に対しては申しわけないと思っっている。

議員 なぜ当初予算を組む前にお願いをしなかったのか。我々も高木市長と話しをしたのは2月1日です。

す。うきは市議長さんとも話をさせていただいた。吉弘君頼むよなという、こういう話をさせていただいた。帰ってこいよという話は一度もありませんでした。副市長さんは、次の日も全部同行していただいて、案内をしていただきました。決してそんな険悪なムードではなかったと私は思います。

町長 ある意味、全ては彼の将来を考えてのことでした。

議員 2月21日に文書でうきは市に伝えたと先ほど室長の答弁、それを見ると、地方創生に努力され、29年でほぼ完了と、やるべき行事、政策は実施した、一定の道筋ができたので、人事交流は終了すると、そういう文書でした。ということとは、その前にこの

文書を作成するとき、副町長に対して相談したか。副町長の意思がこれに盛り込まれているか。あるいは本人の希望か。

町長、私を含めて協議をしたものとして申し入れをした。

町長公室長 町長、副町長、私を含めて協議をしたものとして申し入れをした。

議員 21日に出た文書が、うきは市の答弁としては、町として協定どおり実行した、町としては人事もあるし、本人の将来もあるから、水面下にしてくれという要請があった、そういうことですね。

町長 そのとおりです。**議員** 本人の立場もさることながら、うきは市の市長並びにうきは市の議会に配慮が強すぎたのではないかと。今となっては、白紙に戻してもとのさやにおさまりはつきませんが、これは

町長、釈明ではない、陳謝でしょう。これだけ議会軽視は、私も長く議員やっていけるけれども、初めてのことで。これも最終日の16日、審議が終了して委員長報告を済ませて、もう討論しかない、採決しかないと、重要な話が出てくる。これはもう言語道断です。ましてや、2月21日のうきは市に対する文書は、室長、町長、副町長が合意のもとにつくった文書ですから。その時点でなぜ議会に報告がなかったのですか。それが問題です。答弁は長くなくていいですから、陳謝するならば、陳謝してください。

町長 うきは市との、また吉弘君との本当に彼の将来がかかっ

ているということ、私もそれを重視しました。議会に対して話せなかったことを陳謝いたします。

平成30年度 当初予算に占める副町長関連予算(修正部分) (単位:万円)

事業名等	節	副町長該当額
一般管理費(常勤特別職給与)	2節(給与)	-679
	3節(手当)	-286
	4節(共済費)	-168
	19節(退職手当組合負担金)	-194
町長公室管理費(町長活動諸費)	9節(旅費)	-66
	10節(交際費)	-5
計		-1,400

(万円未満切り捨て)

審議結果

2月臨時会(20日開催)

○は賛成、×は反対を表しています。

議案番号	議案名	議員名	小須田肇	岡田邦敏	永井正之	木暮弘元	岩崎正春	佐藤博	佐藤勇二	千野榮治	島崎紘一	岡田武二	佐藤公夫	審議結果
1	下仁田町浄化槽整備事業の分担金の特例に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
2	平成29年度チャレンジ交流拠点しもにた改修・新築工事請負契約の変更について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
3	平成29年度下仁田町一般会計補正予算(第7号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

3月定例会(6日～20日開催)

議案番号	議案名	議員名	小須田肇	岡田邦敏	永井正之	木暮弘元	岩崎正春	佐藤博	佐藤勇二	千野榮治	島崎紘一	岡田武二	佐藤公夫	審議結果
4	下仁田町固定資産評価審査委員会委員の選任について 飯島富司 氏		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
5	下仁田町個人情報保護条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
6	下仁田町浄化槽整備事業基金条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
7	下仁田町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
8	下仁田町国民健康保険条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
9	下仁田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
10	下仁田町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
11	下仁田町介護保険条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
12	しもにたバス条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
13	下仁田町小口資金融資促進条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
14	下仁田町企業誘致促進条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
15	下仁田町起業支援テレワークオフィスの設置及び管理に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
16	下仁田町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
17	下仁田町道の駅の設置及び管理に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
18	下仁田町教育研究所設置に関する条例を廃止する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
19	指定管理者の指定について(下仁田町福祉作業所分)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
20	指定管理者の指定について(下仁田町林業総合センター分)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
21	指定管理者の指定について(下仁田町体験交流センター分)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
22	平成29年度下仁田町一般会計補正予算(第8号)		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
23	平成29年度下仁田町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
24	平成29年度下仁田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議案番号	議案名	議員名											審議結果	
		小須田肇	岡田邦敏	永井正之	木暮弘元	岩崎正春	佐藤博	佐藤勇二	千野榮治	島崎紘一	岡田武二	佐藤公夫		
25	平成29年度下仁田町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
26	平成29年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算(第3号)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
27	平成29年度下仁田町水道事業会計補正予算(第2号)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
28	平成29年度下仁田町ガス事業会計補正予算(第2号)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
29	平成30年度下仁田町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
30	平成30年度下仁田町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
31	平成30年度下仁田町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
32	平成30年度下仁田町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
33	平成30年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
34	平成30年度下仁田町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
35	平成30年度下仁田町ガス事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
36	平成29年度「道の駅しもにた」コミュニティ施設建設工事請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※堀口博志議長を除く11人で採決を行います。

広域圏NEWS

富岡甘楽広域議会

富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合議会定例会が2月26日に開催された。

◆平成29年度富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,475万円を追加し16億7,981万円とする。

全会一致で可決

◆平成30年度富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合予算

歳入歳出予算の総額17億1,817万円とする。前年当初予算比6,314千円3.8パーセントの増額予算。

全会一致で可決

病院議会

下仁田南牧医療事務組合定例会が3月5日から26日の会期で開催された。

◆平成29年度病院事業会計補正予算

賛成多数で可決

◆平成30年度病院事業会計予算

事業収益は16億4,972万円で、前年度対比4.1パーセント、事業費用は18億4,259万円で、前年度対比3.8パーセントの減額。

主な内容は、132床体制で運営し、医療機械整備事業に、360万円計上、医用テレメーター、遠心機、温冷配膳車等を整備。企業債償還金9,133万円などを見込んでいる。賛成多数で可決

環境議会

甘楽西部環境衛生施設組合定例会が、3月5日、19日、26日に開催された。

◆平成30年度甘楽西部環境衛生施設組合予算

予算総額2億5,536万円で、前年度対比22.1パーセントの減額。

主な減額理由は、昨年でクリーンセンターのI Z循環ポンプ等の修繕が終了したことと、衛生債の償還が一部終了したため。全会一致で可決

行政視察報告

▼総務常任委員会

視察日

平成30年1月31日

2月2日

視察先と目的

①福岡県うきは市

地方創生総合戦略の取り組み及び地方創生拠点整備交付金事業並びに伝統的建造物群保存地区の活用状況の現地調査

②福岡県朝倉市

九州北部豪雨災害現場視察と意見交換

③福岡県宗像市

宗像市の世界遺産登録並びに活用取り組み状況調査

▼第1日目(うきは市)

平成27年9月に「うきは市ルネッサンス戦略」と名付けた地方版総合戦略を策定し、地域資源、外部人材の活用、他地域や組織との連携を図ることを方針に掲げ、高校卒業世

代の市外への流出率が

17・4パーセントから

15・4パーセントに、

1ターナー者を年間30人

から50人に、出生率が

1・53から1・63に、

年間15件の広域的連携

事業を20件に拡大など

を目標とし取り組んでいる。

平成28年度は、地域

総合商社設立及び創業

支援、ブランド戦略に

よる地域農業、森林資

源を活用した広域的事

業を行い、平成29年度

は、道の駅内の地域総

合商社等整備事業など

を行っている。

続いて、蔵造りの街

並みが残る伝統的建造

物群保存地区を視察し

た。

平成8年に国指定

を受け、土地や建物を

購入、保存修理により

整備された屋敷等の活

用方法について説明を

受けた。空き家を活用



伝統的建造物群保存地区

して移住者による「カ

フェ」や「本屋」など

が開業され、移住定住

創業創出につながって

いる。

▼第2日目

うきは市内にある

「うきはビジネスカ

フェ」という創業支援

施設において、地方創

生拠点整備事業につい

て説明を受けた。

平成27年度に「うき

はブランド推進課」を

新設し、地域おこし協

力隊や地域の大学との

協力体制を整え、商工

会、観光協会、温泉

組合が同じフロアで業務を行い、関係強化を図っている。

また、金融機関への委託による創業セミナーの開催や創業者実態調査の実施、商工会による創業塾開催、創業奨励金や利子補給補助金の新設などを行った結果、年間7人から10人が創業している。

地域おこし協力隊

は、平成26年度から採

用しており、観光や農

業振興等10種類のミツ

ションを掲げていて、

卒業生7人の内6人が

定住している。

下仁田町から派遣さ

れている高橋拓生君か

ら、業務報告がされた。

ブランド推進課地域

振興係で、うきは祭り

の運営や博多の大型複

合施設内での各種イベ

ント企画、地域づくり

に取り組む団体等への

助成や、空家対策の事

務を行っている。また、

地元の埋もれた観光スポットを雑誌の表紙に取り上げていた。期待の結果、外国人観光客が増加するなど、その手腕は市長も高く評価されていた。

次に、「道の駅うき

は」を視察した。

平成27年1月に「重

点道の駅」に選定さ

れ、年間9億5千万円

の売り上げがあるが、

駅内に地域総合商社を

開設し、農産物などの

外部販売に力を入れ、

会社訪問による販売な

どで、平成29年度4月

から12月の実績で、約

1100万円を売り上

げている。また、南海

トラフ地震等の大規模

災害を想定した防災広

場が整備され、宿营地

や防災拠点としての役

割をはたしている。

午後5時、朝倉市杷木

支所に移動し、昨年7

月5日に発生した九州

北部豪雨災害について

説明を受けた。

当時、朝倉市を中心とした地域は、積乱雲が次々と発生する線状降水帯が停滞し、9時間

間で774ミリメートルの豪雨となった。降り始めた時は、渾水の解消になればいいとの認識でいたようだが、午後1時には大雨洪水警報が発表され、その1時間後には土砂災害警戒情報が発表されたため、災害対策本部や避難所開設を行っている。午後6時前には大雨特別警報が発表され、市内の土砂崩れは約450カ所発生し、



うきはブランド推進課

筑後川支流の氾濫により、河川近くの家屋は一階が土砂で埋め尽くされるような被害が多数発生した。

土砂堆積は1000万立方メートル、東京ドーム8杯分と推定されており、流木は21万立方メートルを撤去している。

避難所は、ピーク時の7月10日の時点で10カ所、590世帯、1200人が避難していたが、11末日ですべて閉鎖され、仮設住宅には406戸、1008人が生活している。災害復旧のため、

県や他の自治体から、土木や農林、流木撤去業務等に1000人を超える応援を受け、現在も50人以上の応援職員の派遣を受けている。

現在、応急的に河川を掘り下げて流量を確保し、上流部の砂防ダム工事などを進めているが、梅雨時期の災害

が心配とのことであった。

説明後、筑後川水系1級河川白木谷川流域の災害現場を視察した。河川周辺には未だに流木が多数存在し、一階部分が土砂に埋まっている家屋が各所にあった。上流側に移動し、復旧工事現場を視察したが、厚さ5メートル以上の土砂が堆積していて、復旧には長い期間が必要であると感じた。

その後、朝倉市役所に移動し、森田市長と面談した。九州北部豪雨災害時の物資及び人的協力に対する御礼のお言葉をいただき、また災害時の情報伝達の難しさを語られた。外部スピーカーによる防災無線は豪雨時にはほとんど聞こえず、携帯電話や固定電話も不通となり、連絡のとれない孤立集落が多く出現したため、衛星電話等

の導入も検討しなければならぬとのことであった。また、復旧に向けた技術系職員が不足しており、設計が追いつかず、住民に図面を提示出来ない状態だが、広報等で最新の復興情報を提供しているとのことであった。また、ストレスによる体調不良を訴える職員が急増しているようである。最後に、地道に復興を進めるしかない



白木谷川流域の災害現場

語り、市長との面談は終了した。

▼第3日目

宗像市の「海の道むなかた館」において、「神宿る島、宗像・沖ノ島と関連遺産群の世界遺産登録と活用策」について、館内の説明を受けた。

施設では3DシアターやVRモニターにより、「上陸できない沖ノ島」の様子が体験でき、来館者に興味を持ってもらえるよう工夫がされていた。この遺産群は4世紀から9世紀にかけての朝鮮半島や中国大陸との活発な交流において、航路の守り神として信仰され、当時の貴重な宝物が数多く奉納されていて、沖ノ島は神職以外が入島が厳しく制限されたこともあり、良好な形で守り伝えられてきた。

世界遺産登録への歩みは、平成14年11月に

市民団体が実行委員会を立ち上げたことからスタートし、平成19年1月に暫定リスト掲載のため、提案書を文化庁に提出したが、国際的価値が不明瞭ということで継続審議となり、平成21年1月に再審査の結果、暫定リストに記載された。平成28年1月に外務省がユネスコへ推薦書を提出し、昨年5月のイコモス勧告では、沖ノ島とその周辺の岩礁のみの記載となったため、全遺産の一括登録を目指して、委員への丁寧な説明を行った結果、7月の世界遺産委員会において、推薦されたすべての遺産の登録が決定した。

これにより、郷土愛が一気に開花する絶好の機会ととらえ、宗像に誇りを持ち、子どもたちへ継承する教育が重要であることから、教育用副読本等を作成

した。同時に世界中から認知される機会であるので、魅力を発信し、活性化につなげたいとのことであった。

今回の行政視察は、地域創生・災害・世界遺産と多方面にわたる視察となった。人口減少や少子高齢化はどの自治体も大きな課題となっており、地域を盛り上げるのは自治体と地域住民の熱意であると感じた。さらに、世界遺産に関しては、保存と活用の両立の難しさを感じた。災害対策に関しては、災害は必ず起こるといふ防災意識と通信手段の確保が不可欠であると感じた。

以上、大変有意義な行政視察研修であった。
(委員長 千野榮治)



クリッペのすべり面のようすを見学する子どもたち（跡倉地区）

「下仁田の山は動いてきた山？」

「クリッペ」もしくは「根なし山」という言葉は下仁田に住んでいれば一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか。このクリッペと呼ばれる山は市街地からみて南側に並ぶ山々です。クリッペは、山の上下で違う種類の岩石でできている不思議な山です。岩石が地面につながっていないので根なし山とも呼ばれます。上に乗っている岩石は土石流などが海底でたまってできたものです。詳しく観察をすると化石も見つかります。下の岩石は青岩公園に広がっている緑色の岩石です。海底火山でできた岩石が海のプレートに乗って地下にもぐり、そこでできた岩石です。それぞれ、違う場所のできた岩石が断層によって動かされ、重なりました。そして、こ

の重なった岩石の境目を見ることが出来る場所がジオサイト「クリッペのすべり面」です。すべり面は、岩石が切り替わっているというところを実際に確かめることが出来る場所です。大崩山のふもと、の崖の面に岩石のちがいがはつきりと観察することが出来ます。崖に近づくとさらに、断層が動いた傷跡や、断層によってみがかれてつるつるした石があり、大地が動いた証拠が見つかります。まさに、下仁田の大地のダイナミックな変動を感じる事が出来る場所。ぜひ一度見学をして、下仁田の景色がどのようにできたのかを実際に確かめてみましょう。

地域おこし協力隊
（下仁田町自然史館勤務）
片山 美雪さん

編集室から

日本中が歓喜にわいた、^{ピョンチャン}平昌オリンピック、パラリンピックが終わった。北見市のカーリングチームの活躍に迎ええた市長さんが思わず感涙した姿が忘れられない。北見市常呂町が銅メダル獲得により一躍有名になったのである。その経済効果は計り知れない。

神津牧場、ジオパーク、妙義山等、さらに、交通の便が良い、こんなに恵まれた町が発展しないのはおかしい。町民が心をひとつにして知恵を出し合えば次世代につながる、住みよい町になるに違いない。

「吉田さんの言葉をかれば夢は叶う!!」

議会の内容も出来るだけ簡潔に、多くお伝えできるよう委員一同努力いたします。

ご意見等がありましたら、是非お寄せください。

木暮弘元

広報発行特別委員会

委員長 岡田邦敏

副委員長 小須田肇

委員 木暮弘元

岩崎正春

佐藤 博

千野榮治

島崎紘一

我が町は、世界遺産の荒船風穴をはじめ、